

INTERVIEW



木下 裕介 さん (31 歳)

「アート」ってなんだろう？

「住民参画型アートプロジェクト推進業務」の担当として昨年 8 月から津奈木町の地域おこし協力隊に就任しました。主につなぎ美術館での仕事を中心に活動し、展示会の準備や関連イベントなどの記録撮影、アートプロジェクト「海渡り」や達仏に関わる業務を担当しました。

津奈木小学校でサラダ玉ねぎ出荷用段ボールの制作に関する授業

にも参加してきました。小学 1・2 年生の児童たちと一緒にサラダ玉ねぎの絵を描くことでこちらも楽しい時間を過ごすことができました。

学校の先生をしていたことや普段絵画などの制作をしていることもあり、今後は教育分野にも関わる活動ができればと考えています。津奈木町の未来を少しでも明るく照らせたらと思います。

PROFILE

出身地：熊本市
担 当：住民参画型アートプロジェクト推進業務



【写真説明】
1_アートプロジェクト「海渡り」の設営 2_津奈木小学校でのサラダ玉ねぎ制作授業にサポートとして参加

INTERVIEW



上原 慶人 さん (33 歳)

新たな挑戦とさらなる進展を目指した一年間

昨年度から引き続きオイスターバルから始まり、オイスターバルに終わる 1 年間を過ごしています。昨年度末に企画発表していたバル婚の開催は大きな問題無く無事終了することができました。

ことは 2 年目、任期終了がすぐ目前まで来ており、退任後の事業を検討する時期です。そこで、任期中の海産業活性化・オイスターバルの宣伝にも活用でき、妻が開設したオ

ンラインショップの認知度アップにもつなげたいという思いから、SNS のマーケティング活用を学びました。そのほかにも、各種イベントには夫婦そろって出店しました。オイスターバルでは、チラシデザインや各メディアの撮影に対応し、去年以上にせわしなく日々を過ごしています。来年度は最終年度となりますが、津奈木町にはずっといますのでよろしくお願いします。

PROFILE

出身地：菊陽町
担 当：津奈木漁協と連携した水産業活性化プロジェクト推進



【写真説明】
1_津奈木漁協と何度も話し合いながらイチからデザインした、つなぎオイスターバルのチラシ 2_さかなクンのユーチューブ撮影の対応後に記念撮影

いつもつなぎ美術館にいます

私はつなぎ美術館のサポートとイベント運営を担当しています。活動を始めてから早くも 8 か月が経ち、この期間で美術館でのさまざまな業務を学び、イベント運営やアーティストのサポートをしてきました。美術館の展示は毎年異なるため、その変化にスムーズに対応できるよう努めています。また、美術館での業務が主体なため、町民との交流が少ないと感じまし

た。そこで、美術館アトリエで不定期にワークショップを開催し、町民の皆さまとの交流を図っています。

今後は親子で参加できる T シャツ作りやコラージュ作品などのワークショップを企画し、地域とのつながりを深めていきたいと考えています。このようなワークショップを通じて、つなぎ美術館やアートに興味を持っていただけると嬉しいです。

INTERVIEW



櫻場 啓子 さん (42 歳)

PROFILE

出身地：神奈川県
担 当：住民参画型アートプロジェクト推進業務



【写真説明】
1_小田原のどかさんと田の神さあに参加 2_折り紙ワークショップを開催し、参加者は思い思いに制作

歩んだ 3 年間の軌跡—



つなぎ百貨堂と連携した町産品のブランド化と販路拡大

花枝 俊輔 さん

3 年間の活動内容

津奈木町産品を使用した特産品開発
青パパイヤ栽培チャレンジ・東京で物産展企画運営・民泊開業準備

—3 年間で一番の思い出や印象に残っていることは？

視察や出張などに行きましたが、飛行機に乗れなかったことや、着陸できなかつたり、台風で飛行機が飛ばなかつたりして熊本に帰れなかつたのが苦い思い出です。

—卒業後の活動は？

昨年から栽培している青パパイヤがまったく収穫できずことは栽培リベンジ！民泊運営やスタンドアップパドル、料理教室や商品開発、物産展の企画などで収入源をいくつか確保して定住したいです。

—町民にひとこと

任期中、いろいろなお願いをしました皆さん協力的でとても感謝してます。野菜や果物やお米などもたくさんいただきありがとうございました。町内で見かけたときには気軽に声をかけてもらえるとうれしいです。のんびりとした津奈木町の皆さんとても好きです！

3 月末で 2 人の隊員が 3 年間の任期を終え卒業します。3 年間の思い出やこれからの活動についてお伝えします。



つなぎ百貨堂と連携した町産品のブランド化と販路拡大
里地・里山を生かした地域活性化と移住定住促進

濱口 仙太郎 さん

3 年間の活動内容

無農薬栽培米づくり・キウイやびわなどの利活用・野草講座などを通した里山再生活動と地域の食材を活かした料理提供

—3 年間で一番の思い出や印象に残っていることは？

どんどややお祭りなど地域の方々との直会は本当に楽しかったです。町で会うと軽トラですれ違う時でも挨拶を交わすことが当たり前で、笑顔になれる瞬間でした。

—卒業後の活動は？

古中尾地区での里山再生活動と岩城地区での加工場付き宿の開業を予定しています。お米づくりを継続し、くず米を使った米粉のパンや湧水コーヒーを楽しめるカフェも併設予定です。改修のお手伝い募集しています。

—町民にひとこと

この町には何も無い、という町の方からの一言がとても印象的でした。この町には都市にはないものが全てあります。海もあり山もあり、豊かな自然とおおらかな人達は、いつも僕ら家族の支えでした。本当に感謝しかありません。これからも家族共々よろしくお願いします。